



国選択無形民俗文化財  
鶴ヶ島市指定無形文化財

# 脚折雨乞

すねおりあまごい

2024年  
8月4日(日)

午後 1:00~5:00 雨天決行

しらひげじんじゃ

かんだちがいけ

白鬚神社 → 雷電池

主催：脚折雨乞行事保存会



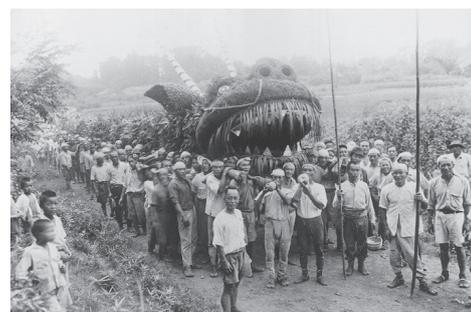
# 脚折雨乞

すねおりあまごい  
脚折雨乞は、江戸時代から続く降雨祈願の伝統行事で、雨を呼ぶために孟宗竹と麦わらで巨大な龍蛇りゅうだを製作することが特徴です。龍蛇は板倉雷電神社から持ち帰った御神水で行う入魂いんこんの儀によって龍神となり、約300人に担がれて、白鬚神社しらひげじんじやから雷電池かんだちがいけまでの約2kmを練り歩きます。池での雨乞いの後、最後に一斉に解体することで、龍神の魂は天へと昇ります。

明治時代の記録によると、「雷電池のほとりの社に雨乞いをすると必ず雨が降った。しかし寛永の頃、池を縮めて田を作ったところ、棲んでいた大蛇が上州板倉（現群馬県板倉町）へ移り棲み、雨が降らなくなってしまった。そこで、群馬県の板倉雷電神社から池の水を持ち帰ると、見事に雨が降り始めた。」と伝えられています。

干ばつの年に行われていた雨乞いも、昭和39年を最後に一度途絶えてしまいました。しかし、雨乞いの持つ地域の一体感を再認識した地元脚折地区の住民が「脚折雨乞行事保存会」を結成、昭和51年に脚折雨乞を復活させ、その後は4年に一度行われるようになりました。

今年8月、コロナ禍による中止を経て8年ぶりに開催となります。



八年ぶりの開催へ

巨大な龍が

練り歩く

雷電池

白鬚神社

## 龍蛇情報

- 全長 36m
- 重量 約3t
- 頭の全高 4.5m
- 頭の全幅 2m
- 胴回り 6m
- 角の全長 4m
- 目玉(直径) 0.25m
- 鼻の穴(直径) 0.18m
- 開いた口の直径 1.6m
- 材料 竹80本  
麦わら570束

## 会場・渡御案内図



※渡御ルートおよび雷電池児童公園周辺は、ドローンの使用が禁止されています。

## 問合せ先

鶴ヶ島市教育委員会  
生涯学習スポーツ課  
文化財担当

350-2213  
埼玉県鶴ヶ島市大字脚折1562-1  
TEL 049-285-2194  
FAX 049-272-3304

